

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	西成区
学校名	大阪市立玉出小学校
学校長名	上田 昌宏

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・玉出学校では、第6学年 38名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科では、平均正答率は大阪市よりも8ポイント、全国とでは9.8ポイントそれぞれ下回った。算数科は、大阪市・全国ともに正答率は同じといった結果が出ている。理科は、大阪市よりも4ポイント、全国とでは6.1ポイント下回った。平均無回答率を見ると、算数科・理科で大阪市・全国よりも下回っているところを見ると、児童一人一人が意欲的に問題に取り組んでいる様子が伺われた。一方で国語科を見ると、大阪市・全国よりも無回答率が上回ったところを見ると、本校児童の国語科に対する苦手が強く伺われる結果であった。

児童質問紙の結果を見ると、多くの質問に対して肯定的な回答の割合が高い状況が見られた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

平均正答率は、大阪市・全国を下回っている。正当数分布グラフを見ると二峰性分布が見られた。また問題別集計結果を見ると、「C 読むこと」に対して大きな課題が見られた。

[算数]

全体的に、大阪市・全国と同じような正答率が見られた。極端に課題と思われる領域が見られない一方で、同じ「D データの活用」の領域の問題でも、正答率に大きなムラが見られる。

[理科]

正答率分布グラフ中央値を見ると、二峰性分布が見られた。「知識・技能」の観点に係る問題の正答率から、知識の定着がなされていない面が見られた。

質問調査より

教科に関する調査結果における無回答率の低さや、質問調査「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。（+21.1）」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。（+5.1）」「学校に行くのは楽しいと思いますか（+5.4）」の肯定的な回答率の高さから分かるように、学校・学習活動に対して前向きな姿を読み取ることができる。

一方で、「人が困っているときは、進んで助けていますか」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」、などの肯定的な回答率が低く、課題が見られた。

今後の取組(アクションプラン)

- ・国語科において「音読の徹底」「説明的文章の文章構成を確認」「文学的文章の構造と内容の把握を交流」「漢字の読み書き」を中心に文章読解・言語活動の研究を進めていく。
- ・学力向上支援チーム事業の活用として、スクールアドバイザーと連携し、指導案作成や授業参観だけでなく、指導案作成前から教材研究会を実施し授業の展開について助言を得たりしており、学校全体で教員の指導力向上に取り組んでいる。
- ・「朝の学習の時間」を、全校朝礼のない月曜日、毎週火曜日・水曜日に、国語科の個に応じたスキルトレーニング（プリント学習や音読）を継続して行う。

【 全体の概要 】

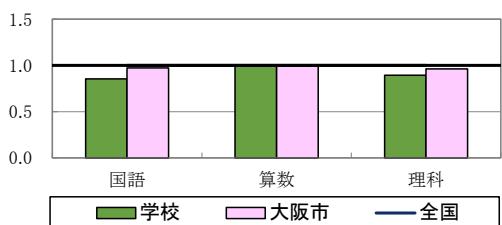
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	57	58	51
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

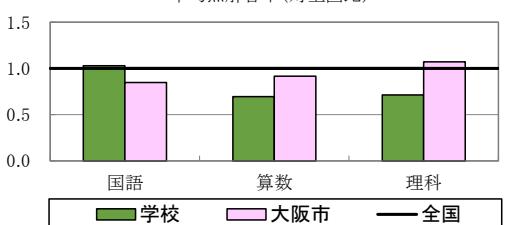
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	3.4	2.5	2.0
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



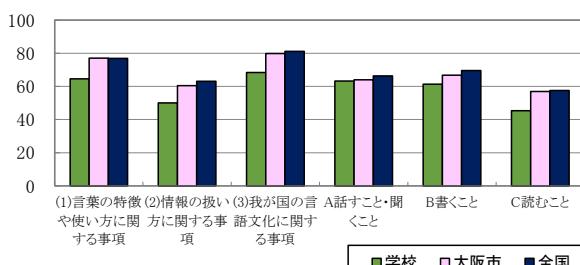
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	64.5	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	50.0	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	68.4	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	63.2	64.0	66.3
B 書くこと	3	61.4	66.7	69.5
C 読むこと	4	45.4	56.9	57.5

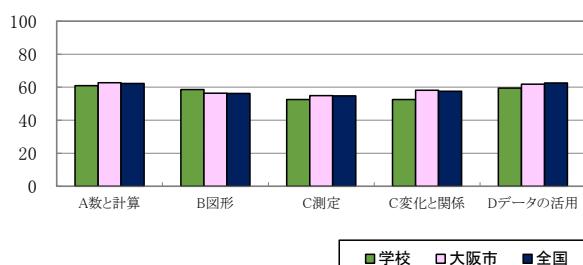
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	60.9	62.7	62.3
B 図形	4	58.6	56.4	56.2
C 測定	2	52.6	54.9	54.8
C 変化と関係	3	52.6	58.2	57.5
D データの活用	5	59.5	61.9	62.6

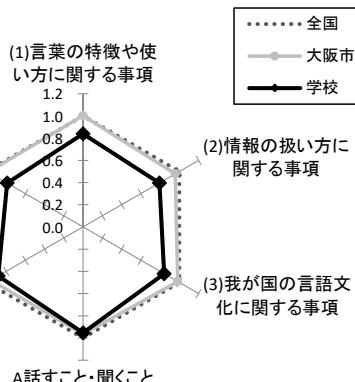
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



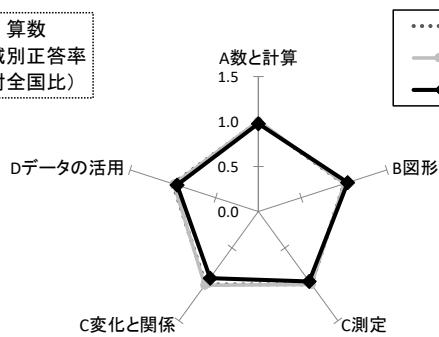
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

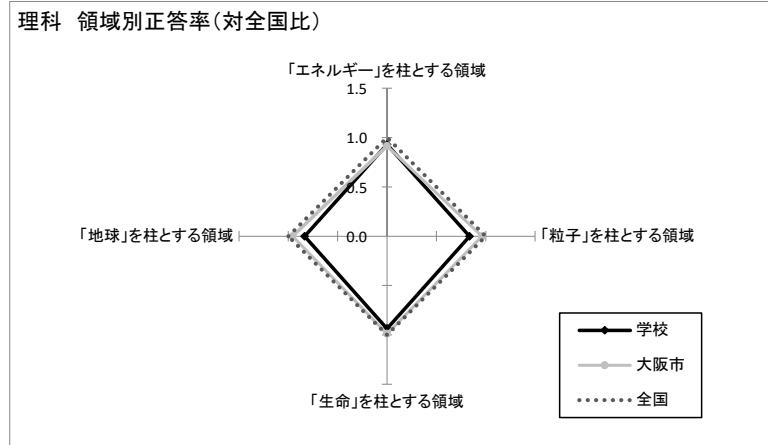
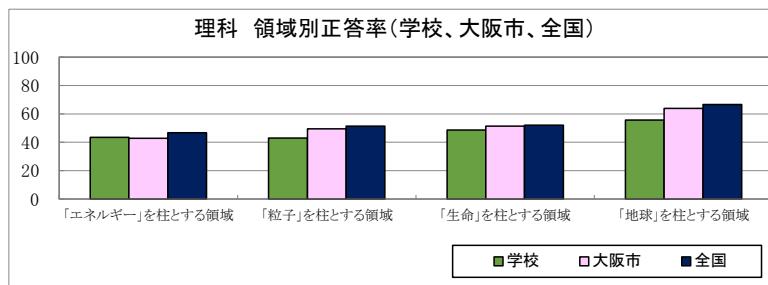


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	43.4	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	43.0	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	48.7	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	55.7	63.8



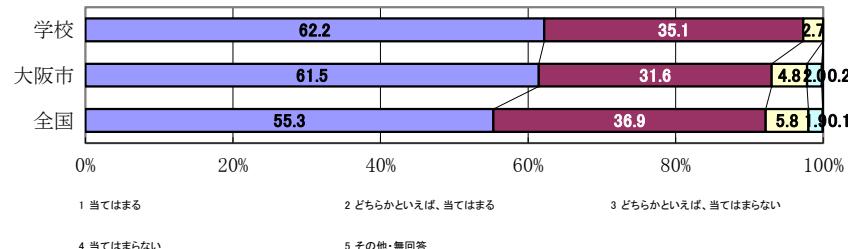
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

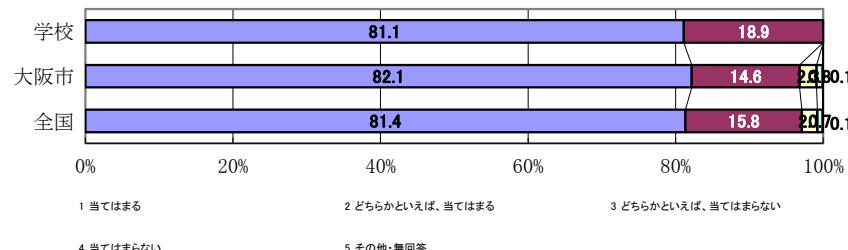
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



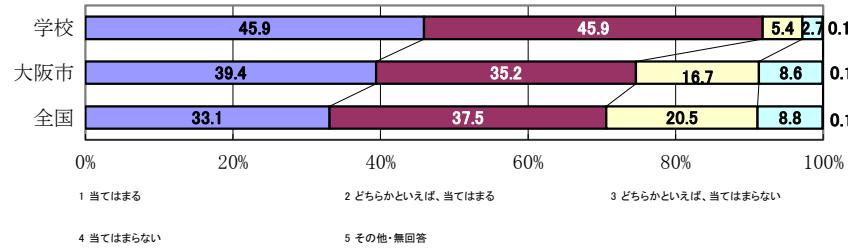
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



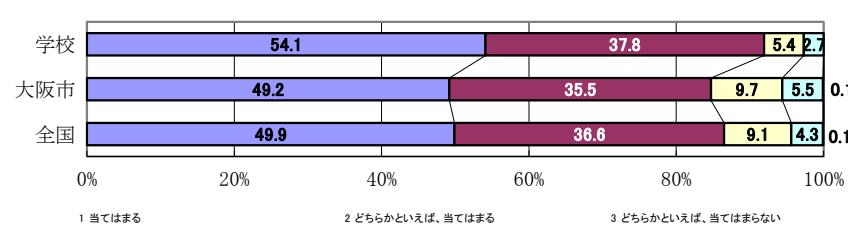
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人についてでも相談できますか



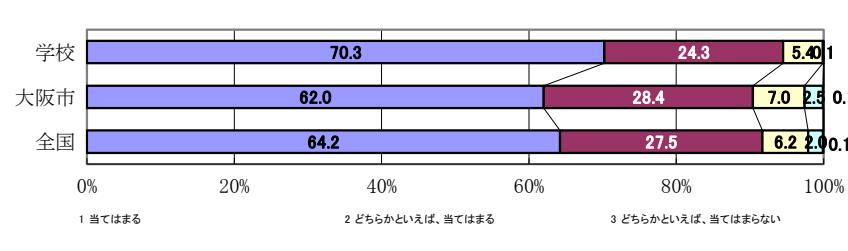
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



14

友達関係に満足していますか



学校質問より

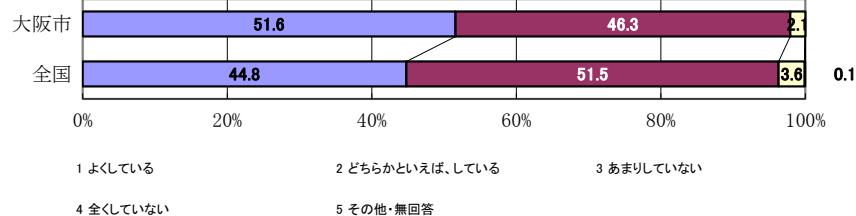
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10

質問番号
質問事項

17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

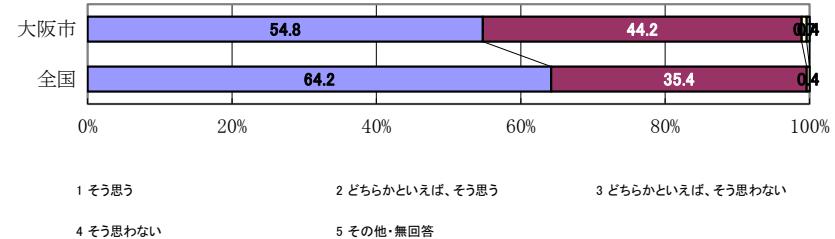
学校 「よくしている」を選択



21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員(支援スタッフを含む)の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

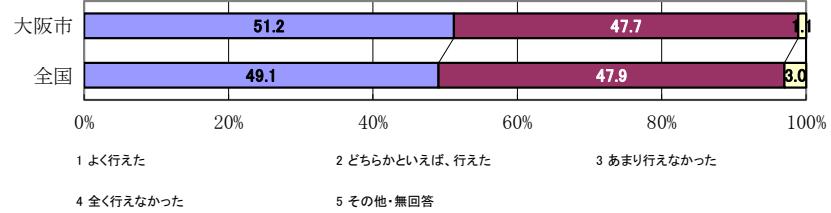
学校 「そう思う」を選択



48

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまずいた児童に対する対応を行いましたか

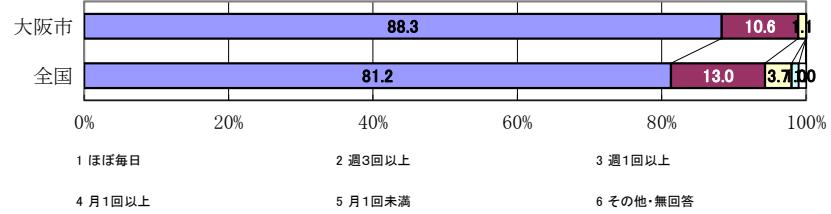
学校 「よく行えた」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



67_5

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(5)児童の心身の状況の把握

学校 「ほぼ毎日」を選択

